

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
音楽基礎 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	根本英子			実務 経験	有	職種	ピアニスト FMパーソナリティ 中学 高等学校講師 (音楽) 音楽教室講師				
授業概要											
この授業では、必ずしも音符を読むということのみならず、あらゆる要素から楽譜が追えるようになるよう、リズム・テンポや拍子・音楽用語等、幅広く音楽基礎知識を養う。そして実践に役立つよう、楽譜を追いながら楽曲を聴くなど、音楽と親しむ。											
到達目標											
演奏されている楽曲の部分が、楽譜においてどこになるのかが分かるようになるために、音楽の基礎を学習する。単に音符を追うということのみならず、各種記号、音楽用語、拍子など、多様な要素から楽譜にアクセスできることを目標とする。また、そのためには机上での学習のみならず、リズム課題を手拍子等で演奏することなど、実践的な方法でも楽譜を読む力を養う。											
授業方法											
必ずしも音符を読むということのみならず、あらゆる要素から楽譜が追えるようになるよう、リズム・テンポや拍子・音楽用語等、幅広く音楽基礎知識を養う。そして実践に役立つよう、楽譜を追いながら楽曲を聴くなど、音楽と親しむ。また、音楽の基礎知識の一つとして、さまざまなジャンルに引用されているクラシック音楽に触れる機会を持つ。プロミュージシャンとの現場において自信が持てる人材育成を目指す。											
成績評価方法											
*試験と課題を総合的に評価する *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
音楽はあらゆる要素が絡み合っているため、一度休むと理解が困難になる場合がある。やむを得ない場合を除く遅刻・欠席などは極力避けること。社会人として基本的なルールを身につけるために、授業態度については厳しく対応する。自ら考え、答えや結果が導きだせるよう、自主的で積極的な学習態度で受講すること。配布されるプリントは紛失しないように気を付けること。											
教科書教材											
楽譜の読み方 授業時に配布されるプリント											
回数	授業計画										
第1回	前期の復習：後期の授業開始に際し、前期で学んだことの復習										
第2回	音程：音と音の距離、音楽独特の距離の表し方を覚える										
第3回	音階について①：楽曲が作られる基本のツール、音階を学ぶ。										

音楽基礎 2

第4回	音階について②：長音階のしくみをしっかり理解する
第5回	音階について③：短音階のしくみを理解。短音階は種類があるので、時間をかけしっかり学習する
第6回	第17回から20回までの復習：小テスト等で到達度をチェックするとともに、理解していない部分を解決する
第7回	Keyについて①：さまざまな調が存在することを知る
第8回	Keyについて②：長調と短調を学び、平行調について理解する（試験等においては#、bは2個までとする）
第9回	Keyについて③：いろいろな楽曲がどのような調で作られているか調べる
第10回	楽曲研究②：楽譜を見ながら、ここまで学習してきたことを読み取る
第11回	第24回までの復習：小テスト、プリントの復習などから、学習内容の確認
第12回	まとめ：前期の内容も含め、後期試験対策
第13回	試験後の復習：試験内容解説から総復習
第14回	楽曲研究③：楽譜を見ながら楽曲を聴き音と楽譜の関係を理解する
第15回	リズム打ち 発表：年間を通して練習してきたリズム打ちの成果を発表